Kanagawa Welfare Academy

2027年1月開講 第1部：基礎編

「幸せに生きるための知性を磨く」

知識ではなく「生きた知恵」を。福祉の未来を見据え、人と地域を育む知性を磨く。



基礎編全 6 回

受講料（税込）
19,800円

2027.1.29 FRI 開講
15:00–16:30

かながわ福祉大学校　理事長　瀬戸恒彦

一般社団法人かながわ福祉大学校理事長、一般社団法人かながわ福祉総合研究所理事長、一般社団法人共生社会推進機構理事長。著書/共著として、『評価が変える介護サービス』法研2003、『介護経営白書』日本医療企画2006、『居宅介護支援・介護予防支援給付管理業務マニュアル』中央法規2007『新・社会福祉士養成講座第11巻7章』中央法規2010、『介護保険事業所　業務改善ハンドブック』中央法規2012、『介護事業の基礎力を鍛えるコンプライアンス経営』日本医療企画2014、『介護の現場で人間力を磨く 「論語」を通じ、人間理解を深める』2020などがある。

なぜ今、「幸せに生きるための知性」が必要なのか。

急速に変化する現代社会において、知識や技術の習得のみならず、人間性の本質や自らの幸福観を深める「思索の土台」が求められています。本講座では、日本・東洋の思想史や「おかげさま」の精神史を紐解きながら、地域社会で心豊かに生き、互いに協働するための深い知性と哲学を育みます。

主催：かながわ福祉大学校
お問い合わせ：kw-academy@kanafuku.jp
※お申し込み情報は本セミナー運営のみに使用します。

今すぐ予約
スマホから登録完了

第1部 基礎編＜人間性と幸福の探求＞

カリキュラム

1/29

1．なぜ今、「幸せに生きるための知性」なのか

私たちの立つ場所／なぜ今、この問いなのか／「幸せ」を問い直す

2/12

2．「知性」とは何か —— 知識・知恵・叡智の別

情報の溢れる時代と「知性の劣化」「生きた知恵」

2/19

3．「幸せ」を問い直す —— 日本人の幸福観の源流を辿る

日本語「幸せ」の源流／「足るを知る」

3/5

4．日本の思想・哲学の源流を探る

仏教の受容と日本化／儒学と国学

3/12

5．東洋思想に学ぶ幸福 —— 孔子・老子・仏教

孔子の「仁」／老子・荘子の「無為自然」／仏教の「慈悲」／三教一致

3/26

6．日本的幸福観の展開・現代の知見と古人の知恵の呼応

「結」と「講」／報徳思想／「間柄」との呼応／感謝・利他

第2部応用編

＜地域共生の理念＞

・頼り合える社会 —「自己責任」を超えて
・「福祉サービス」から「生活サービス」へ
・学び合いがつむぐ「共にある心」
・人を育て、地域を育てる
・場をつくる担い手となる —新しい役目

（27年4月開講予定）

第3部実践編

＜指導者としての実践知＞

・指導者としての心構え
・徳の指導と組織の営み
・学び続ける生き方
・ 私が創る地域の未来「私の共生社会宣言」
・総括

（27年7月開講予定）